

# さわどい 埼玉



2014/02/04

▲懇談会に出席の皆さん

去る2月4日、さいたま市のプリムローズ有朋を会場に埼玉県企業局が実施したタイ地方水道公社の研修生との懇談会に当友好協会の原会長が、来賓として招かれ、筋野、小高事務局と共に出席しました。当日は企業局から公営企業管理者、企業局長等15名が出席、通訳として埼玉大学留学生4名が加わり懇談会が行われました。

## 原会長、タイ地方水道公社 研修生と懇談!!

外交」を紹介すると共に、企業局の支援事業が、チョンブリ県から更にチェンマイ県、ノンカイ県で新たに開始されていくことを、技術支援プロジェクトの成果として称えました。

研修生は、36歳から58歳までの8人、今まさにタイの水道公社での働き盛り、懇談に移ると研修生からは、日本の高い技術を学ぶ意欲が語られ、その熱気で開催が包まれました。



▲来賓として挨拶する原会長



▲研修生と話す原会長

### 本年度活動に向けて



会長  
原 敏成

私が初めてタイを訪れたのは、今から11年前、第3回友好親善訪問に参加した時です。訪問したのは、メーホンソン県、チェンマイ県、バンコク市内でした。目的は、タイ王国のロイヤルプロジェクト財団の活動を見学するということでしたが、気候、風土、食べ物、そこに住む人々、今でもその時の印象は鮮明です。以来タイへの関心が深まり、新聞や雑誌などの記事も目に飛び込んでくるようになりました。

当協会が行っている教育関連施設寄贈の第1回の実施から既に10年が経過しました。この間のタイの経済発展は目覚ましいものがありますが、メーホンソン県などと都市部との教育格差は依然として大きいままであると聞いております。本年度は当協会の事業の大きな柱である教育関連施設建設事業が予定されております。すでにメーホンソン県の教育担当者から、候補地の連絡がきました。

7月の総会までには、現地調査等を行い、総会では会員の皆様にご審議していただく予定でございます。

今後とも、当協会に對しまして、会員の皆様のご指導・ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 現地調査始まる

## 次回寄贈の教育関連施設



▲建設候補地

●「メーピン学校」  
所在地はメーホーンソン県パライ郡（チェンマイ市内より車で約3時間）で生徒数171名（保育園・中学生）です。  
教室が少なく、子供の受入ができていないとのことであり、保育園の教室を要望していました。

●「メーメー小学校」

所在地はチェンマイ県チェンダオ郡（チェンマイ市内より車で約2時間）で生徒数は146名（保育園・小学校）です。  
山奥の学校であり、140名が宿舍にて生活しており、宿舍の数が足りない状態であるため、宿舍の建設を要望していました。

その他調査結果につきましては役員会にて詳細の報告を行い、今年度の総会にて皆さまにご審議いただけるように進めてまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

当協会では、会員の皆さま、埼玉県国際交流協会様のご協力・ご支援のもと、過去7か所にわたるタイ王国北部の少数民族山岳民族に対し、小学校の校舎など教育関連施設の建設・寄贈を行ってまいりました。  
次期8か所目の候補として、メーホーンソン県の教育担当者からメーホーンソン県パライ郡にある「メーピン学校」について情報をいただきました。  
また、チェンマイや近隣県に定住・長期滞在されている日本人の会でもあります「チェンマイ定住者の会」様からもチェンマイ県チェンダオ郡にあります「メーメー学校」についての情報をいただき、2つの学校につきまして事務局にて現地の様子を確認して参りました。



▲漢数字を読む児童

写真はいずれもメーピン学校



▲記念写真



▲現地の皆さんと打合せ

### タイのお茶栽培

### その原点は狭山茶?!

#### 元埼玉県立がんセンター所長 藤木博太氏より手紙

昨年12月、原名誉会長宛に今は博多に住む徳島大文学部名誉教授の藤木博太氏から、本紙29号を懐かしく拝見した、との手紙が届きました。

14年前、第1回の親善訪問の際、チェンマイ大学のがん研究の求めに応じ埼玉県立がんセンターの協力のもと狭山茶の種子をタイロイヤルプロジェクトに寄贈しましたが、その際、同センターにいた藤木氏にも同行していただきました。

藤木氏は一昨年11月、チェンマイ大学で行われた第4回健康と美に関する天然物化学の国際学会で講演依頼を受け参加したとのことですが、こうした研究が盛んになっているのは、同大薬学部での狭山茶がん予防研究のお蔭でしょうと、手紙の中で述べています。

また次のようにも述べています。

「今は、台湾から輸入したお茶の木を繁殖させ、大きな茶の工場が出来ていました。今やタイは緑茶の生産をし、販売する国となりました。こちらのお茶は農薬を使用していませんので、狭山茶の業者さんが購入しますと、安価な緑茶が販売できるのにとおっしゃいました」

「私の研究の方は、埼玉県立がんセンターの仲間と研究を継続しています。最近インターネットで連絡がとれますので活発な研究活動が持続できます。来年度はマイトリー先生のお薦めで、チェンマイ大学の優秀な学生さんを菅沼さんの研究室に受け入れ、タイ王国との共同研究を再開できるようにと考えています」



▲「狭山茶がこんなに大きくなりました」と藤木氏（右）とマイトリー氏（本紙6号より）

# 原名誉会長 園遊会に招かれる



そうです。会長は、大変名誉なこと、いい思い出になりました。と感想を述べていました。



当友好協会原宏名誉会長が、4月17日、赤坂御苑で開かれた天皇、皇后両陛下主催の春の園遊会に、招かれました。原名誉会長は武州ガス(株)の社長・会長を務め、都市ガス業界及び経済界に関する長年の業績が認められ、この度の招待となりました。当日のテレビや新聞報道では、ソチ五輪の羽生選手や葛西選手が注目されましたが、両陛下が原会長の前を通られた際、会長の姿に目を止められ、天皇陛下にお声をかけていただいた



▲当日の新聞報道

# タナさんご一家、武州ガス本社を訪問



▲歓談を終え、記念撮影

4月16日、チェンマイのランブーン新電元(株)社員のタナさんが、家族と一緒に、武州ガス本社を訪れました。タナさんは、教育関連施設寄贈事業の第一回から、現地調査や竣工式などに通訳も兼ね参加して頂き、当会にとつてなくてはならない存在です。(本紙22号の「会員ボイス」にも登場していただきました)この日は、草加市出身の奥様とチェンマイ大学生の長女、高校生の次女を伴っての来日で、原宏当名誉会長、原敏成当名誉会長等と思い出話やタイでの生活などについて、歓談しました。その後、川越市内を回り、訪

れた喜多院はすでに桜は散っていましたが、一家は新緑が映える庭の景色に感動し、また五百羅漢にも興味を持ったようでした。盛んにシャッターを押していました。



▲五百羅漢を見学



▲時の鐘の前で

## 埼玉県企業局の タイ地方水道公社への 技術支援とは？

### 埼玉県企業局

埼玉県企業局では、JICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業を活用して、タイ地方水道公社へ水処理技術向上のための支援を行っている。その内容は現地へ職員を派遣し技術指導を行う、同公社からの研修生を受け入れる、というものである。

#### 平成23年度~25年度

チョンブリ地域への支援で、  
現地での技術支援6回、研修生の受け入れ3回

その結果浄水場運転管理に係る技術の改善や、埼玉県企業局からの提案に沿った施設改良が行われた。



▲チョンブリ県における水質管理技術指導

#### 平成25年度~

チェンマイ、ノンカイの2地域で支援を開始し、水質の改善、運転方法の改善に取り組んでいる。

今後も、タイ地方水道公社への支援を継続し、タイ国内の浄水技術向上に尽力していきたい。



▲ノンカイにおける問題分析の指導

## タイにアクセス

会員  
VOICE

古今の歴史と文化が見事に  
調和した都市

名古屋市  
大西 和光 さん



埼玉・タイ王国友好協会にお世話になり、孤児院の寄宿舍寄贈を目的とした親善訪問団に参加させていただきました。訪問するまでのタイの印象は、プーケット、パタヤと言ったビーチリゾート、トムヤンクンなどのスパシーなエスニック料理でしたが、実際はバンコクなど厳かな仏教文化が息づき、古今の歴史と文化が見事に調和した都市でした。

中でも一番感動したのは、バンコクやチェンマイなど深夜まで活気溢れる都市の表情、子供たちのキラキラした屈託のない笑顔でした。特にアジアホープ孤児院では、厳しい環境であるにも係らず、親善訪問団を明るく、大歓迎してくれた子供たちの表情は今でも忘れられません。寄宿舍を寄贈してからすでに7年、彼らが成長し、タイ王国と日本の架け橋となり文化的にも経済的にも更に良好な関係を築いてくれることを願ってやみません。また、我々もこういった取組を末永く応援していきたいと思っています。

### 第16回総会開催

下記の要領で総会を開催します。  
ぜひご出席ください。

日時 7月2日(水)  
15:30~16:50 総会  
17:00~19:00 懇親会

場所 川越東武ホテル  
川越市脇田町29-1 ☎049-225-0111

※会員の皆様には、別途ご案内を送付致します。



◀ 昨年の総会風景



タイの母の日

## ジャスミンが シンボル

日本では5月の第2日曜日が母の日ですが、タイでは1976年以降、シリキット王妃の誕生日、8月12日が母の日と定められ、祝日になっています。

母の日には子供は母親の足元にひれ伏したり、家事を手伝ったり、プレゼントを贈ったりします。日本のカーネーションにあたる花はジャスミン。この花が純白で、良い香りが遠くまで届き、長く香ること、そして1年中咲く花である事が理由で、母から子供への絶えることのない純粋な愛情に喩えられています。



### 第15回 タイ・フェスティバル2014

主催 タイ王国大使館

5月17日(土)18日(日)  
10:00~20:00  
代々木公園イベント広場

広場にはタイ料理の屋台がびっしり並びます。お腹が満足したら、野外舞台で行われる、民族舞踊や音楽、ムエタイショーの見物。雑貨類や食材も安く豊富です。ぜひお出かけください。

詳しくはタイ王国大使館HP、公式タイフェスティバルHPをご覧ください。



● 最近、川越でもタイ人の観光客を見かけるようになりました。ずっと続けば良いのですが…。

● 初めてのタイはすべてが新鮮でした。バンコクのビル街と山岳部の樹の大きさに圧倒。

編集後記

(T)

(Y)

### 埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428  
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118  
(武州ガス㈱内)